

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 松涛会	代表者	斎藤 正樹	法人・事業所の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・建物が複合施設になっていて他部署との協力体制ができています。 ・山の田内科が協力病院として緊急時等の受診などの連携ができています。 ・施設内は家庭の延長線としての雰囲気があるまま活かされるようにし、不安や心配事を訴えてくる利用者様には、個別ケアを行っている。 ・可能な限り利用者本位の柔軟な対応をし、緊急な泊りなど家族の要望の受け入れをしている。
事業所名	小規模多機能 フォイテ 金比羅	管理者	中堀 詔子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	2人	人	1人	1人	人	3人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			<ul style="list-style-type: none"> ・職員間のミーティング等積極的に取り組んでいる。 ・正直な自己評価がされている。 	<p>毎日のミーティングや職員会議を活用したり、伝達簿を確実に見るようにして利用者の情報交換をしていく。どの職員も家族との信頼関係を早く築けるよう、それによって情報共有をし易くする。</p>
B. 事業所のしつらえ・環境			<ul style="list-style-type: none"> ・施設内は明るく過ごしやすい快適な空間が出来ていると思う。 ・面会者の駐車場の問題で玄関前に駐車できるようにしてほしい。 ・ロビー階からの出入りができるようにしてほしい。 	<p>玄関前の駐車場は立地条件もあり難しい面もあるが、スムーズに止められるようにしていきたい。ロビー階からの出入りは、本来、サービス付き高齢者住宅に住まいの方達の入り口となっている為、どこまでできるか相談をしていきたい。</p>
C. 事業所と地域のかかわり			<ul style="list-style-type: none"> ・これからだと思う。 	<p>地域の清掃活動の継続や複合施設を活かした施設内行事を通して、自治会等の住民との関わりを増やし、顔の見える関係作りを行う。</p>
D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取組み			<ul style="list-style-type: none"> ・外出行事もあり、事業所内だけでなく、他者との交流の機会をもてるよう工夫をしている。 ・地域との関わりは地域の状況もあり今後関わりが増えていくことを感じました。 ・地域に向いていくに利用者一人一人の事を知る為に、どう関わっていくかが大事だと思う。 	<p>・清掃活動の継続による住民へのアピール。施設内行事への住民参加の声掛けを行う。先々は利用者個々の特性が活かせる行事の企画をしていきたい。</p>
E. 運営推進会議を活かした取組み			<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の中での報告等により利用者の様子や行事等がよく理解できた。 ・地域の方や利用者家族へ運営推進会議の参加をお願いした方が良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の地域の方の出席者が増やせるようにしていきたい。 ・運営推進会議内容を利用者家族へ知らせるようにしていく。
F. 事業所の防災・災害対策			<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方からの災害時の避難場所としての要望もあり施設も対応して頂けると聞いている。 ・お互いに協力体制をとる事に積極的に活動されているように感じました。 ・玄関からの道（坂道・狭さ）が心配。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時での避難場所としての提供していきたい。 ・事業所から徘徊時の連絡体制や避難訓練時の協力体制を地域住民へお願いをしていきたい。 ・災害時での避難経路を解りやすく掲示し、避難の際の安全の確保を訓練時に確認する。